

基礎学力試験問題

Ⓐ

1 受験心得

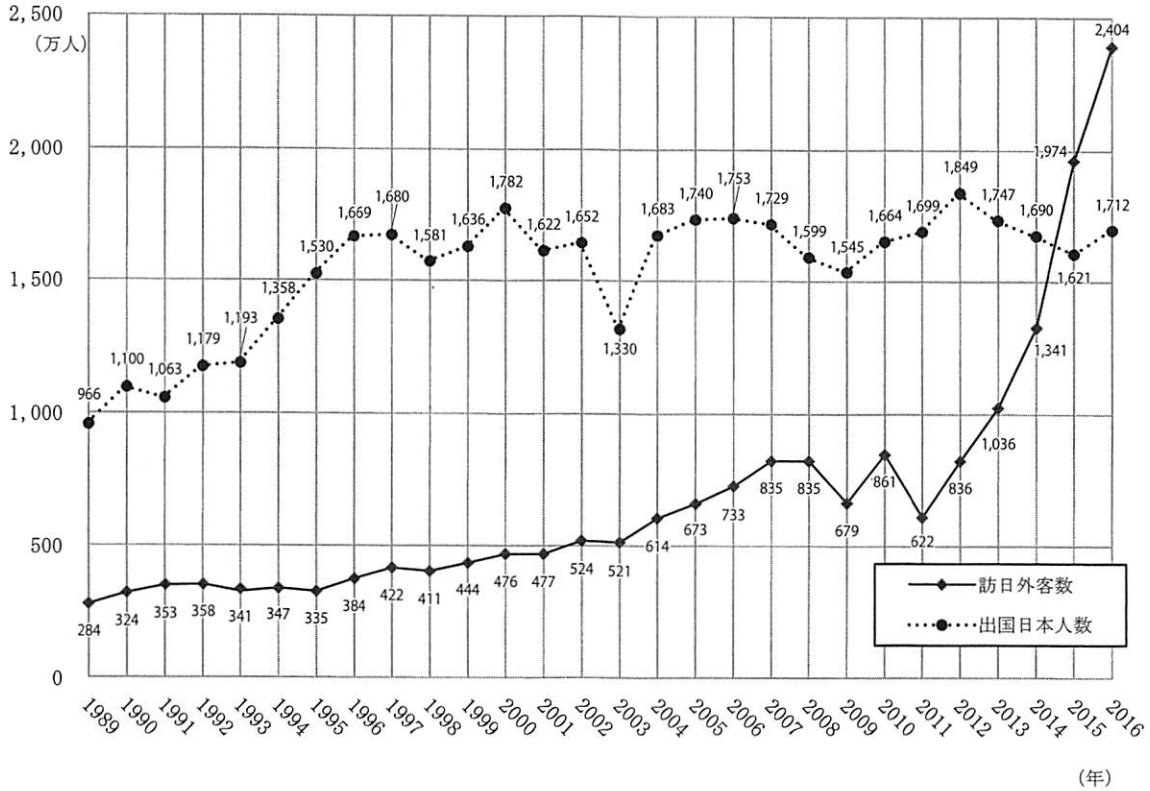
- (1) 指示があるまで開いてはいけません。
- (2) 問題の内容に関する質問にはいっさい回答しません。
- (3) 試験時間中はすべて係員の指示に従ってください。
- (4) 計算等は余白を利用してください。計算機、定規、分度器、コンパス等の使用は認めません。
- (5) 携帯電話等の電源を切り、使用できない状態にしてカバン等にしまってください。

2 注意事項

- (1) 受験番号、氏名及び整理番号を解答用紙の決められた欄に記入してください。（2枚目にも記入してください。）
- (2) 問題は、①～②までで、全部で5ページにわたって印刷してあります。
- (3) 基礎学力試験の試験時間は、80分です。
- (4) 声を出して読んではいけません。
- (5) 答えはすべて解答用紙の解答欄に記入してください。
- (6) 答えを直すときは、きれいに消してから、新しい答えを書いてください。

1 グラフ1、グラフ2、表3、グラフ4を参照し、以下の問いに答えなさい。

グラフ1 1989年から2016年までの訪日外客数、出国日本人数の推移



グラフ2 近年の訪日外客数の主要地域別割合（数字は各地域からの訪日外客数を示す）

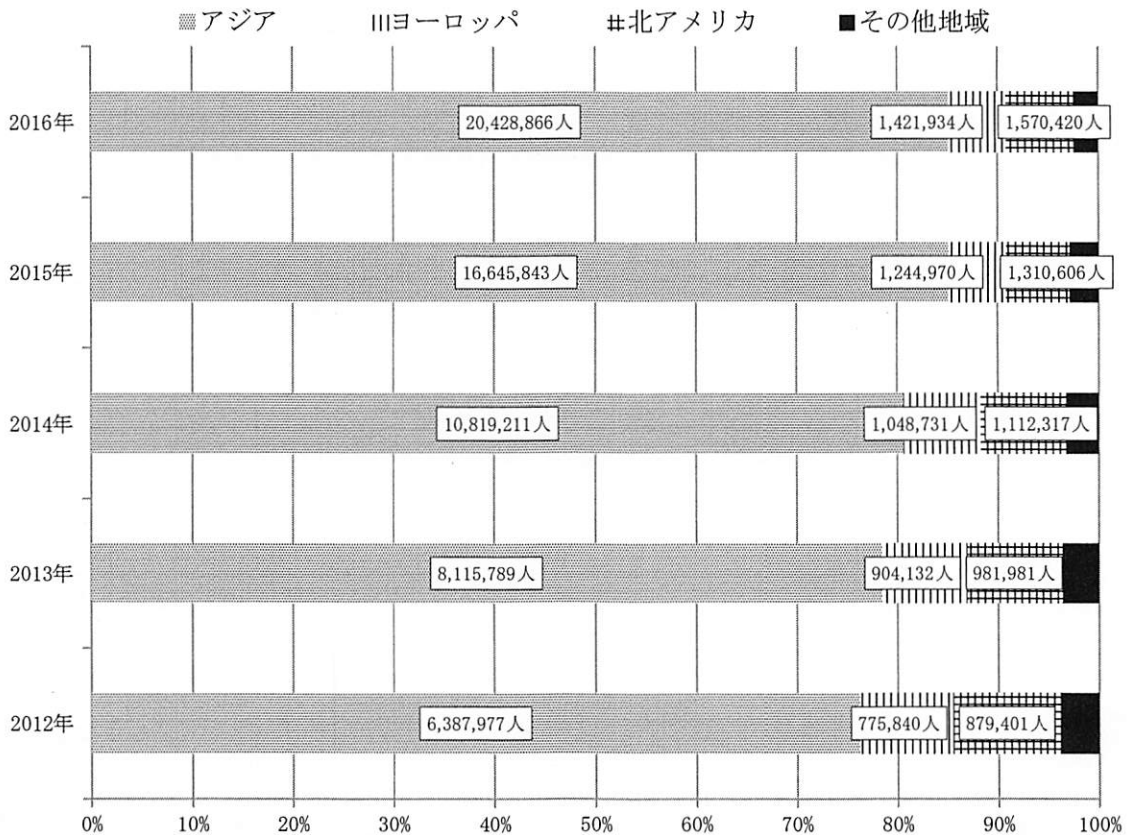
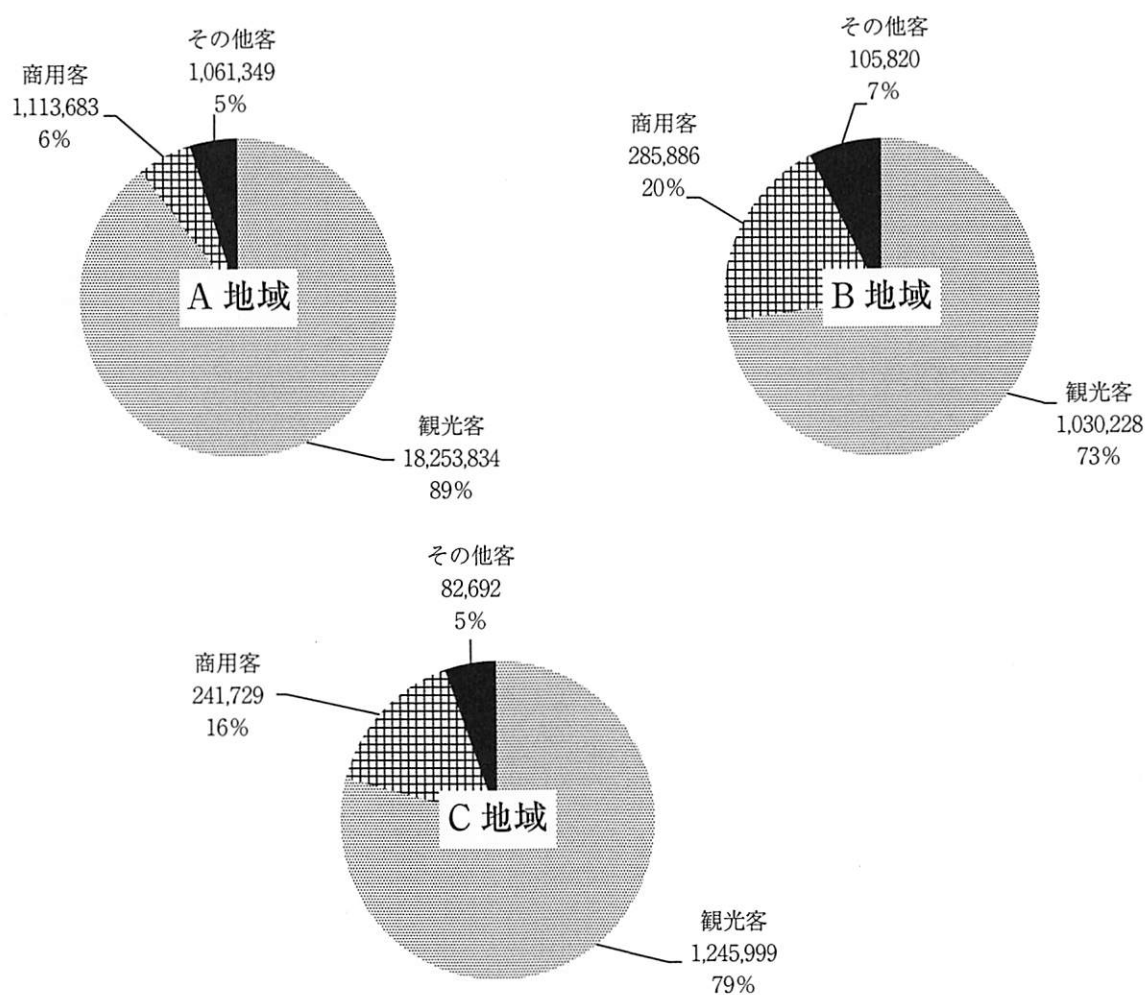


表3 2016年の主要地域・国別訪日外客数（上位3か国・地域）

中国	6,373,564	英国	292,458	米国	1,242,719
韓国	5,090,302	フランス	253,449	カナダ	273,213
台湾	4,167,512	ドイツ	183,288	メキシコ	43,509
その他アジア	4,797,488	その他ヨーロッパ	692,739	その他北アメリカ	10,979
アジア計	20,428,866	ヨーロッパ計	1,421,934	北アメリカ計	1,570,420

グラフ4 2016年の主要地域からの目的別訪日外客の割合



問1 グラフ1は、1989年から2016年までの訪日外客数、出国日本人数の推移である。

グラフ1に関して誤っているものを以下から一つ選びなさい。

- (ア) 訪日外客数が、出国日本人数を上回ったのは2015年が初めてである。
- (イ) 訪日外客数が2年連続減少していることはない。
- (ウ) 1990年から2000年間の出国日本人数の推移をみると、全ての年で前年を上回っている。
- (エ) 2001年から2010年までの間で、出国日本人数は2回以上、前年度を下回っている。
- (オ) 出国日本人数が初めて1500万人を突破したのは、1995年である。

問2 グラフ2は、近年の訪日外客数の主要地域別割合、表3は、2016年の主要地域・国別訪日外客数（上位3か国・地域）を示した表である。グラフ2、表3を参照し、次の文章の空欄（①）、（②）に当てはまる国名を記述し、空欄（1）～（7）に入る語句を選択肢から選びなさい。同じ記号を何度使用してもよい。

近年の訪日外客数の主要地域別割合の推移を見ると、（1）からの訪日外客数の伸びが目立っている。2014年には、この地域からの全訪日外客の（2）以上の割合を占めている。この地域からの訪日外客数は2014年には（3）を越え、2016年にはさらにそれがおよそ2倍になっている。

一方、他の地域からの訪日外客数に着目すると、いずれも2014年に初めて（4）を越えている。

2016年の主要地域・国別訪日外客の実数を見ると、（1）からの訪日外客数の30%以上を占めるのが（①）である。2位の国とは（5）以上の差がついている。また、北アメリカからの訪日外客数を見ると、（②）からの訪日外客数は2位の国と96万人以上の差がついており、この地域からの訪日外客の約（6）を占めている。また、ヨーロッパからの訪日外客数を見ると、上位3か国は約（7）を占めている。

【選択肢】 ア ヨーロッパ イ アジア ウ 北アメリカ エ 50% オ 60%
カ 70% キ 80% ク 90% ケ 90万人 コ 100万人
サ 1000万人 シ 2000万人

問3 グラフ4は2016年の主要地域からの目的別訪日外客の割合を示している。表3も参照しながら以下の問いに答えなさい。

(1) A地域に該当する地域名を答えなさい。

(2) A地域からの訪日外客について、

- ① なぜ観光客の割合が高いのかあなたの考える理由を一つ述べ、
- ② この地域からの訪日客を増やすにはどうしたらよいか、グラフに示されたことを基にあなたの考えとその理由を120字以上150字以内で述べなさい。

2

問1 次の問に答えよ。

- (1) $12 - 4 \div \left(-\frac{2}{3}\right)^2$ を計算せよ。
- (2) $\frac{6x+3}{8} - \frac{x+3}{2}$ を計算せよ。
- (3) $5x^2 - 45$ を因数分解せよ。
- (4) $\sqrt{24} - \sqrt{\frac{3}{2}}$ を計算せよ。
- (5) 5つの数「0、-4の絶対値、 $-\sqrt{0.16}$ 、 $\frac{5}{4}$ 、 π 」を小さい順に左から右に並べるとき、左から3番目の数を求めよ。
- (6) 1次方程式 $\frac{2x-1}{3} = \frac{2}{5}x+1$ を解け。
- (7) 連立方程式 $\begin{cases} 3x+5y=1 \\ 2y=3x-8 \end{cases}$ を解け。
- (8) 2次方程式 $(x-2)(x-3)=2x^2$ を解け。
- (9) 下の表は、中学生A、B、C、D、Eの身長が165cmより何cm高いかを示したものである。この5人の身長を平均を求めよ。

中学生	A	B	C	D	E
165 cm との違い (cm)	+7	-5	+1	-4	+11

- (10) 3枚のコインA、B、Cを同時に投げるとき、1枚が表で2枚が裏となる場合は何通りか。

問2 次の問に答えよ。

- (1) 120cmのひもを x 等分すると1本の長さが y cmになる。このとき x と y の関係を式で表せ。
- (2) 直線 $2x+3y=6$ に平行で、点 $(-1, 2)$ を通るとき、この1次関数の式を求めよ。
- (3) 図1には、2直線 l, m がかけられているが、グラフ用紙が破れていて l と m の交点を読みとることができない。2直線 l, m の交点の座標を求めよ。
- (4) x の2次関数 $y=-a^2x^2$ と、1次関数 $y=ax+5$ は、 x の値が-2から3まで増加するときの変化の割合が等しくなる。このときの a の値を求めよ。
- (5) 2次関数 $y=ax^2$ で、 x の変域を $-1 \leq x \leq 2$ とすると、 y の変域は $-8 \leq y \leq 0$ である。このときの a の値を求めよ。

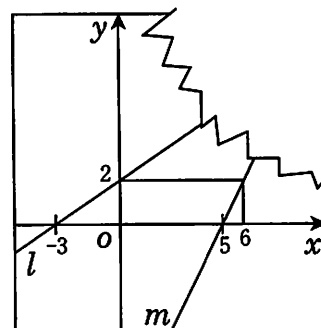


図1

問3 次の問に答えよ。(ただし、円周率を π とする。)

- (1) 半径8 cm、面積 $24\pi\text{ cm}^2$ のおうぎ形の中心角の大きさを求めよ。
- (2) 底面の半径が3 cm、高さが4 cmの円錐の体積を求めよ。
- (3) 内角の和が 2520° である多角形は何角形か。
- (4) 図2で、 $l \parallel m$ のとき、 $\angle x$ の大きさを a, b, c を用いて求めよ。
- (5) 図3で、 $\angle x$ の大きさを求めよ。(点Oは、円の中心とする。)

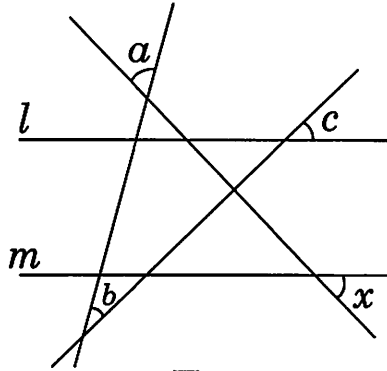


図2

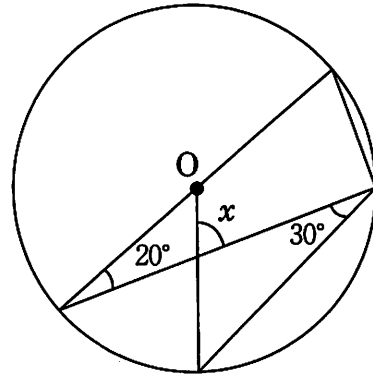


図3